

## 3. 社会実装サポート

## 3-2. 広報活動



## 事業の概要

## 最新成果を国内外に発信

持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進や成果の社会実装に役立てるため、ニュースリリースや各種イベントの実施、パンフレットやウェブサイトでの情報発信をはじめ、様々な手段を通じてNEDOの活動を広く多くの方にお伝えしています。また、日本が主催した各種サミットなどにおいて、政府広報展示に協力し日本の最先端技術を紹介しました。

今後は、これまでの広報活動に加え、デジタルコンテンツやオンラインイベントなどを充実化させることで、より広く、より分かりやすく、NEDOの役割と活動を発信するとともに、NEDOと技術開発に取り組む方々の懸け橋となれるよう努めていきます。

図1 ● 「2019年度 NEDO『TSC Foresight』特別セミナー」を開催し、ESSマークを発表（2020年2月）



## 最近10年の主な取り組み

## ❖ ニュースリリース・記者会見

NEDOの活動の中で画期的な成果や新しいプロジェクトのスタートについて、新聞や雑誌での記事掲載やテレビ放映の機会を増やすことを目指し、適宜ニュースリリースの発表や記者会見を実施しています。こうした場では、専門的な技術を分かりやすく解説することにより、NEDOが推進する技術開発を、メディアを通じてより多くの方に理解いただく取り組みを行っています。

表1 ● ニュースリリース・記者会見の件数（横軸は年度）

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
ニュースリリース件数	89	98	69	75	101	145	156	174	143	174
記者会見件数	25	12	23	29	19	25	27	33	31	24

図2 ● 国内初、沖合における洋上風力発電の設置完了し、現地見学会を開催（2012年10月）



図3 ● 全固体リチウムイオン電池の研究開発プロジェクトの第2期が始動（2018年6月）



図4 ● 福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）開所式を開催（2020年3月）  
出典：首相官邸ホームページ



## ❖ 展示会

NEDOは、取り組みや成果を広く一般の方に伝えるため、多くの方が来場する様々な展示会やイベントに出展しています。特に近年は、ビジネスマッチングを促進する場としてプレゼンテーションスペースやマッチングスペースの設置、ピッチイベントの実施など、成果の社会実装や実用化を後押しする取り組みに力を入れています。また、海外に向けNEDO事業成果をアピールする場として、様々な国が参加するイベントや、海外で開催される展示会にも積極的に参加しています。

図5 ● アブダビで開催された「World Future Energy Summit 2012」に出展、UAEのムハンマド皇太子がNEDOブース来訪（2012年1月）



図6 ● ドイツで開催された「国際情報通信技術見本市（CeBIT2017）」。NEDOブースを視察するメルケル首相（中央）と安倍首相（当時）（2017年3月）



図7 ● NEDOとJSTで毎年開催している産学官のビジネスマッチングを支援する「イノベーション・ジャパン」（2018年8月）



## ❖ 国際会議、サミット対応など

NEDOは、様々な技術分野の議論を進めるため、国際会議の開催、運営や、国が開催するサミットなどの展示協力も実施しています。国際会議では産業界・学术界だけでなく、世界各国の政府関係者の参加の下、長期的な展望を踏まえた議論を展開し、今後の行動指針を示すなど、各国の協力を促進する大きな成果に貢献しています。また、日本で開催された「G7伊勢志摩サミット2016（第42回先進国首脳会議）」や「G20大阪サミット2019（金融・世界経済に関する首脳会合）」などでは、政府広報展示に協力しNEDOプロジェクトの様々な成果を展示しました。

図8 ● 「第4回日印エネルギーフォーラム」をインド・ニューデリーで開催（2011年2月）



図9 ● 「サンシャイン計画 40周年記念特別シンポジウム」を開催（2014年9月）



図10 ● 「G7伊勢志摩サミット2016」の政府広報展示に協力（2016年5月）



## ❖ セミナー・成果報告会など

毎年、各技術分野のプロジェクトやその成果を多くの方に伝えるため、セミナーや成果報告会を実施しています。国内外から各分野の第一人者の方々を迎えたパネルディスカッションや講演を行い、知見を共有して、積極的な情報交換を行う有意義な場をつくっています。中でも、2015年度からNEDOの取り組みを分かりやすく紹介するため、全国21カ所で「NEDO FORUM」を開催しました。

図11 ● 国内外から産学官のリーダーを招き、東京国際フォーラムで開催された「NEDO FORUM」の様子(2015年2月)



図12 ● 「第11回 ADEME-NEDO セミナー」をフランス・リヨンで開催(2015年10月)



## ❖ 普及・啓蒙

未来を担う子どもたちに次世代の技術を身近に感じてもらうと、子ども向けのイベントも開催しています。特に2011年は東日本大震災を受け、被災各地の小学校で太陽電池工作教室を開催しました。近年は子どもたちの地球環境問題への意識が高く、エネルギー・環境分野に関するイベントには多くの子どもたちが参加し、楽しみながらエネルギー・環境について学ぶ良い機会として活用されています。

図13 ● 東日本大震災の被災地の一つ、宮城県の気仙沼市立落合小学校(当時)での太陽電池工作教室の様子(2011年9月)



図14 ● 「創エネ・あかりパーク 2019」で燃料電池の実験ショーなどを行うNEDOブースの様子(2019年10月)



## ❖ 広報誌「Focus NEDO」、パンフレット、白書など

2002年2月18日に創刊したNEDOの広報誌「Focus NEDO」は、2020年12月現在で79号まで刊行しています。誌面の中では、NEDOプロジェクトに携わる職員・関係者へのインタビューや注目の成果、最新の情報などを紹介しています。そのほかに、NEDOの概要を紹介する「NEDOのご案内」、年度の活動報告「アニュアルレポート」などのパンフレットを発行しています。また、再生可能エネルギーや水素エネルギー、ロボット、オープンイノベーションなど、様々な分野で白書を発行・改訂しました。各技術分野における現状・課題・将来展望などを分かりやすくまとめることで、広く一般に活用いただくことを目的としています。

図15 ● 広報誌「Focus NEDO」



図16 ● 様々な白書



## ◆ ウェブサイトによる情報発信

情報発信の主要なツールとなったインターネットにおいて、NEDOは1995年7月にウェブサイトを開設しました。

### (1) 役割の変遷

開設当初は、成果報告書をはじめとする各種資料を提供する場としてスタートしました。その後、従来紙媒体で行っていたプロジェクト公募について、ウェブサイト上に掲載することが定着し、現在はすべての公募をウェブサイトで行っています。

2003年の独立行政法人化後は、NEDOのアクティビティを分かりやすく知ってもらうための「最近の動き」コーナーを開始しました。また、ウェブサイト限定コンテンツとして、海外の再生可能エネルギー、省エネルギー環境、ライフサイエンス、IoT(Internet of Things)などに関する最新動向、トピックスなどを中心に紹介する「海外レポート」の掲載を行っています。

### (2) ウェブサイトコンテンツのメディア化

ユーザビリティの向上を目指し、2011年7月に大幅なウェブサイトデザインのリニューアルを行いました。これまでのトップページに新着情報としてすべてのコンテンツを一括して表示する形式から、ニュース、公募、イベント開催情報などコンテンツごとの表示に変更しました。

さらに2020年8月には、より見やすいデザインにするとともに、スマートフォンに対応しました。また、英文サイトも同様にデザインを変更し、「最近の動き」などNEDOの活動についても随時更新することにより、海外に向けた情報発信も充実させました。

### (3) SNSの活用

2020年4月には、公式Twitterアカウントを開設しました。広く一般に向けた情報提供を開始し、公募情報や最新の成果についての情報などを発信しています。今後も、充実した情報発信を目指します。

図17 ● 2020年にリニューアルした公式ウェブサイト(トップページ)



図18 ● 「最近の動き」として、東京都と水素エネルギーの普及促進に関する基本協定締結を伝えるトピックス(2020年1月)



図19 ● 2020年4月に開設した公式Twitterアカウント(トップページ)

